



<https://www.ariake.kaetsu.ac.jp/>

2025年度入試 イベント案内

■ 中学説明会 (オンライン) 5月11日(土) 10:00 ~ 11:30 6月15日(土) 10:00 ~ 11:30 9月7日(土) 10:00 ~ 11:30	
■ 部活動体験会 10月12日(土) 9:00 ~ 15:00	
■ 入試説明会 (オンライン) 11月2日(土) 10:00 ~ 11:30 1月11日(土) 10:00 ~ 11:30	2025年
■ 入試体験会 [本番の雰囲気で実施] 12月7日(土) 8:30 ~ 11:00 ■6年生対象	
■ 帰国生対象 学校説明会 (オンライン) 6月8日(土) 14:00 ~ 15:30 7月13日(土) 10:00 ~ 11:30 9月28日(土) 10:00 ~ 11:30 10月26日(土) 14:00 ~ 15:30	
体育祭	
6月1日(土) 8:30 ~ 15:30	
文化祭	
9月21日(土) 10:00 ~ 15:00	9月22日(日) 10:00 ~ 15:00

かえつ有明 土曜講座 (KSS)
KAETSU SATURDAY SCHOOL
[授業は各回完結型!]

スケジュール (1講座ずつ選択受講)

13:00 ~ 13:50	14:00 ~ 14:50
思考力講座	英語入試対策講座 (リーディング+ディスカッション)
英語の講座は外国人 講師が担当します	実施方法 オンライン実施
対象 小学4・5・6年生	開催日 土曜日
	受講料 2000円(1講座)

予約・詳細は KSS ホームページから <https://kaetsu.d2.r-cms.jp>

かえつ有明中・高等学校

〒135-8711 東京都江東区東雲2-16-1
TEL: 03-5564-2161 FAX: 03-5564-2162
E-MAIL: kikitai@ariake.kaetsu.ac.jp



KAETSU_KOUHOU

KAETSU ARIAKE

SCHOOL CONCEPT BOOK 2025

KAETSU ARIAKE

かえつ有明中・高等学校



SCHOOL
CONCEPT
BOOK
2025



「違う」ということは、



「強い」ということ



芯を育む、自由がある、 安心がある。

一人ひとりの自分軸を確立するために、
お互いに尊重される自由で安心感のある学びの場を、
生徒・保護者・教職員、共に作っていきます。
世の中の変化をおそれることなく、自分らしく生き、
新しい価値観を創造できる人間へと
成長するための6年間です。
次の3つのキーワードから、
かえつ有明の学びは進化していきます。

DIVERSITY 05

多様性が尊重される安心安全の場

周囲の視線や批判をおそれることなく、他人も否定することなく、ありのままの自分を表現できる学びの場です。お互いを理解して協働できる人間関係を築くスキルを身につけます。

DEEP LEARNING 07

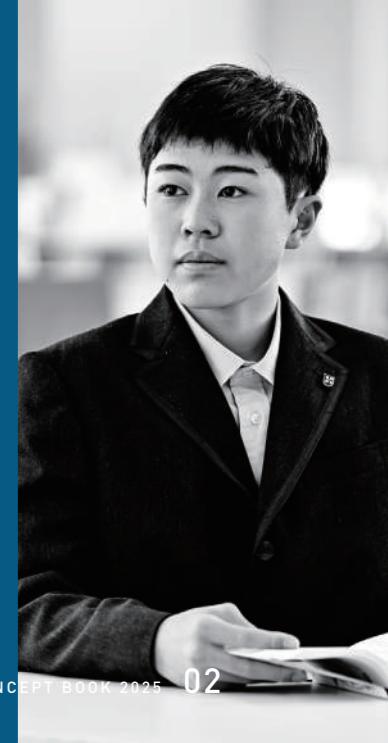
アクティブラーニングのその先へ

教員の一方的な指導で受け身になるのではなく、生徒一人ひとりが知的好奇心を持ち、学び方そのものに自覚的になり、主体的に深く学び続けるあり方にこだわっています。

GLOBAL 11

4人に1人が帰国生という環境

様々なバックグラウンドを持った生徒が集まっています。インターナショナルのように、クラスを分け隔てることなく、学校生活自体が日常的に異文化と触れ合えるグローバルな体験です。



Philosophy

教育理念

生徒一人ひとりが持つ個性と才能を生かして、
より良い世界を創りだすために
主体的に行動できる人間へと成長できる基盤の育成

CONTENTS

校長メッセージ	04
DIVERSITY	05
安心安全の関係性	
DEEP LEARNING	07
サイエンス科／スパイダーウェブディスカッション／モデル・コア・カリキュラム	
GLOBAL	11
英語教育／国際交流プログラム／留学プログラム／海外大学進学サポート	
進路・進学	17
6年間のキャリア教育／大学合格情報／卒業生からのメッセージ	
スクールライフ	23
かえつ生の1日／学校行事／部活動紹介／施設紹介／制服紹介	
インフォメーション	33
安心・安全対策／交通案内／よくある質問／入試情報	

Message from the
Principal

MESSAGE



MESSAGE

行政と大学の教育現場で35年の間、私が持っていた教育信条は、「教育の未来には、夢と希望がある」というものです。

そして、「今、ここを生きる。」これが私の価値観の軸です。過去の経験や学びは脳に蓄積され、必要に応じて現実社会と融合してこそ、価値が生まれると考えています。

生徒に持ってほしい感情ワードは、「良かった」「満足だ」「誇りに思う」です。生徒が、本校に入学して卒業するまで入学して良かったと日々感じること、そして卒業時に6年間の学校生活と自分に満足していること、卒業後も常に母校を誇りに思えることです。私の提案を1つ具体的にご紹介します。

教育理念を教職員が体現するために、クレドを作り明文化します。教職員のクレドが出来たら、生徒にもクレドを作ってほしいと考えています。自由で主体性があるのは、自分自身の軸を自分で考え、その軸

を根底に言動しようという考え方からです。

私は、20年ほど前、キャリア教育の黎明期に、日本の学校教育の変遷と現状を知りたく、建学100年以上の全国の学校を訪問しました。どの学校にも、建学の精神を繋げている伝統がありました。嘉悦学園も明治の建学時から120年を超えて伝統校です。幾度かの大きな社会変化に適応し、発展進化してきた素晴らしい学校です。だからこそ、さらに激しくなる社会変化とスピードや多様性に対応するためには、教職員と生徒のクレドが必要だと考えました。

ご意見やご要望はどんどんお話し下さい。心理的安全性を持ち、共感的対話を実践し、キャリアカウンセラーとしてもきちんと傾聴していきます。生徒一人ひとりの成長と幸福を最優先に考え、保護者のみなさまからの信頼を得て、共に素晴らしい学びの場を築いていきます。

校長 小島 貴子

安心安全の関係性

キーワード 多様性の中で「自分」を素直に表現できる場作り



■ 安心安全の学びの場とは

かえつ有明には、さまざまな入試を経て入学する生徒がいます。中でも4人に1人の割合を占める帰国生（国際生）は、本校の多様性をかたちづくる大きな存在です。多彩な文化を経験してきた彼らは、日本で生まれ育った生徒たちに、異なる価値観や物の見方、そして世界の広さを教えてくれます。

一方で、同じ日本で育ってきた同級生同士であっても、価値観の違いを感じことがあります。他者との「違い」を感じるとき、人は戸惑いを覚えます。「私たち、同じだよね」と思っていた概念が覆されるとき、「こんなことを言ったら馬鹿にされる」「仲間外れにされたらどうしよう」と思い、発言を控え、自分を表現することをやめてしまうかもしれません。

安心安全の場づくりは、自身の中にそのようなとらわれがあることの自覚から始まります。自覚ができるてはじめて選択ができるのです。ただし、選択には勇気が必要です。過去の傷ついた自分が躍起になって、自分らしい振る舞への選択を止めようとしています。その時に助けてくれるのが、仲間の存在です。恐る恐る出した言葉を否定せずに受け止めてくれる存在が、過去につくられた恐れや不安を拭ってくれるのです。

本校では多様な価値観を持った仲間と共に対話したり、協働して探究したりする場面が数多くあります。その際に大切にされるのは、自身の考えや想いを率直に伝えることと、相手の存在に関心を持って話を聞くことです。それによって、安心安全の場がもたらすあたたかなエネルギーに支えられた対話や協働の場がつくられると考えています。

多様性を生み出す多彩な入試



本校には2科・4科入試、思考力入試、アクティブラーニング思考力入試、そして帰国生入試があります。転編入試験も実施しています。多様な特性を持つ生徒たちが共に学び、学校生活を送る中で、相互理解のスキルを身に着けます。



■ 共感的コミュニケーションのトレーニング

共感的コミュニケーションでは話すことよりも、聞くことに重きを置きます。話すことが苦手な話し手であっても、聞き手のあり方によっては、自分でも驚くほど話ができてしまうことがあるからです。したがって、まず最初にトレーニングするのは「聴き方」です。目指す聞き方は「ただ聞く」です。私たちは人の話を聞いているときに、評価や判断をしながら聞きがちです。一方、ここで言う「ただ聞く」とは自分が持っているバイアスに気づき、それを脇に置いて、目の前で話している人の存在に意識を向けて聞くということです。

共感的コミュニケーションのトレーニングで最も有効なのは、誰かに自分の想いを受け取ってもらうという経験そのものです。小さな悩みであっても、ただ聞いてくれる存在がいることで安心を感じることができます。そんな些細な経験の積み重ねが、自身の内面に眠っていた感情や想いに気づきやすくさせ、勇気を持って本音で語れるようになり、そして、真摯に誰かの話に耳を傾けられるようになっていくのです。

人は自分の感情や大切にしている想いに無自覚なまま、他者を傷つけるような言葉を発しがちです。しかし、誰かの言葉に真摯に耳を傾けているうちに、相手の中にも大切にしている想いや感情があるということに気づくようになっていき、相手の背景にも思いを寄せたコミュニケーションが図れるようになっていきます。

生徒たちが将来生きる世の中には多様な価値観があります。そこで、お互いを理解し、協働できる人間関係を築くスキルは、教育の場でこそ身につけるものだと考えます。本校の「学びの場」は、人の目や批判を恐れることなく、人を否定することもなく自己を表現し、自分らしさを失わずにいるためにデザインされています。



■ 教師自身のマインドフルネス

本校では教師自身がマインドフルな方でいることが生徒たちの心の安定と伸びやかな成長につながると捉えています。多感な思春期の生徒たちに真に寄り添うために、私たちは自分の内面にも意識を向け、整った状態で生徒と向き合う姿勢を大切にしています。それが我々にとってのマインドフルネスです。

生徒にとって教師の影響力は大きく、関わり方ひとつで生徒の行動を制限してしまう可能性があります。それは言葉だけでなく、何気ない振る舞いひとつでも同様です。学級運営で大切なのは「教師は生徒を指導する立場」という概念を手放し、共に生きる仲間として尊重し合う関係性を築くことです。教師自身が自分を見つめ、心を整えながら、安心安全な教育の場をかたちづくっています。

カウンセリングルーム

専門性をもつスクールカウンセラーが在室し、生徒とあたたかく向き合うカウンセリングルーム。生徒自身が自身の急激な心身の成長に戸惑うとき、その健やかな成長を支えます。また、保護者の方々も相談することができます。子どもから大人に変わっていく難しい時期であり、その対応で保護者も悩み、どのように向き合えばよいのか困る場面があります。そのような保護者の気持ちに寄り添います。保護者会や文化祭では、「思春期の子育て支援講演」を実施しています。Zoom、電話やメールでの相談も可能です。楽しくてよりよい学校生活と友達づくりのためのアンケートも実施し、その結果は年3回程度の生徒と担任との面談でも生かされています。

（2024年度は、3人のスクールカウンセラーが、月曜から土曜まで曜日交代制で在室しています。）

2024年度からスクールソーシャルワーカーの導入も開始され、さまざまな側面から生徒の学校生活をサポートします。



思考力を育む授業の実現のために、教員自身も研修が必要です。スパイダー討論やバターンランゲージなど、サイエンス科で導入するコミュニケーション方法は、教員も体験する方法論です。



卒業生やインターンシップ協定校の東京理科大学の学生が授業や放課後学習のサポートに、さらに様々な分野で活躍する社会人を招いての授業展開が日常的に行われ、生徒それぞれの知的好奇心を刺激し、本格的な探究活動へと誘っています。

MESSAGE

一人ひとりの輝きを大切にするために

かえつ有明は、多様なものが存在し、関わり合い、日々新しいものが生まれ出していく「創発の場」です。そのような場における教師の役割は「ともに探究する人」。未来をつくる存在としての生徒をリスペクトし、一緒に考え、受け入れ、見守り、そして共に成長していく、そんな先生が集まっています。

生徒は他者との深い対話を通じて、かけがえのない自分自身の存在に気づき、自分のペースで未知の世界に続く自分だけの扉を見つけていきます。生徒の内なる灯を信じて見守る教師と、それぞれの輝きを放ちながら伸びやかに学ぶ生徒が、響き合って創り出すやわらかなハーモニーが校舎の中を豊かに満たしています。

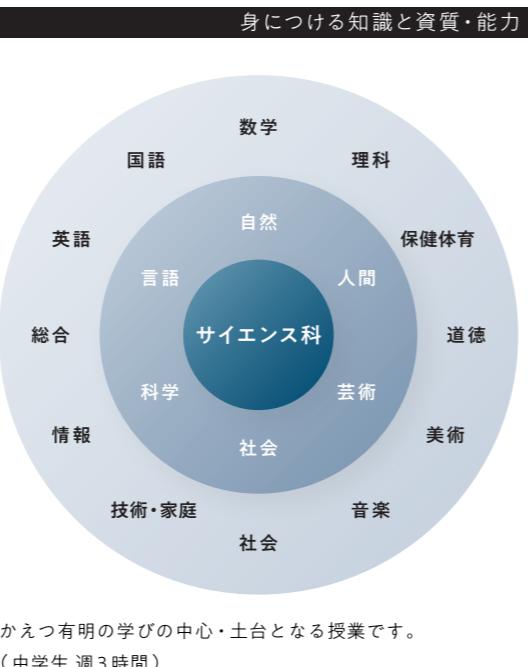
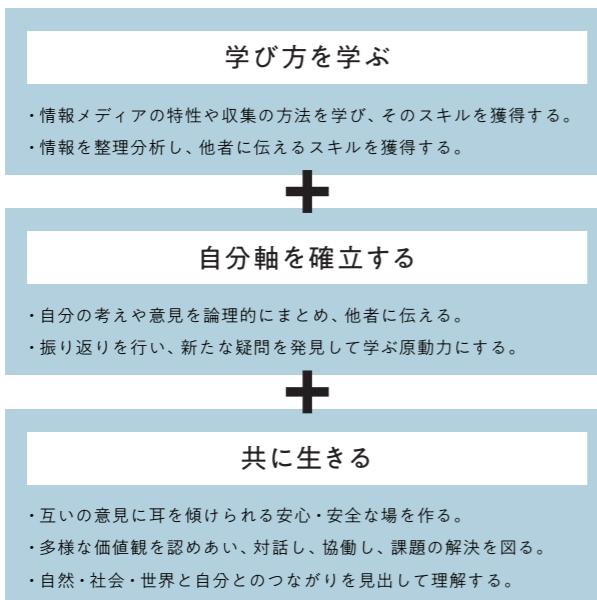


サイエンス科

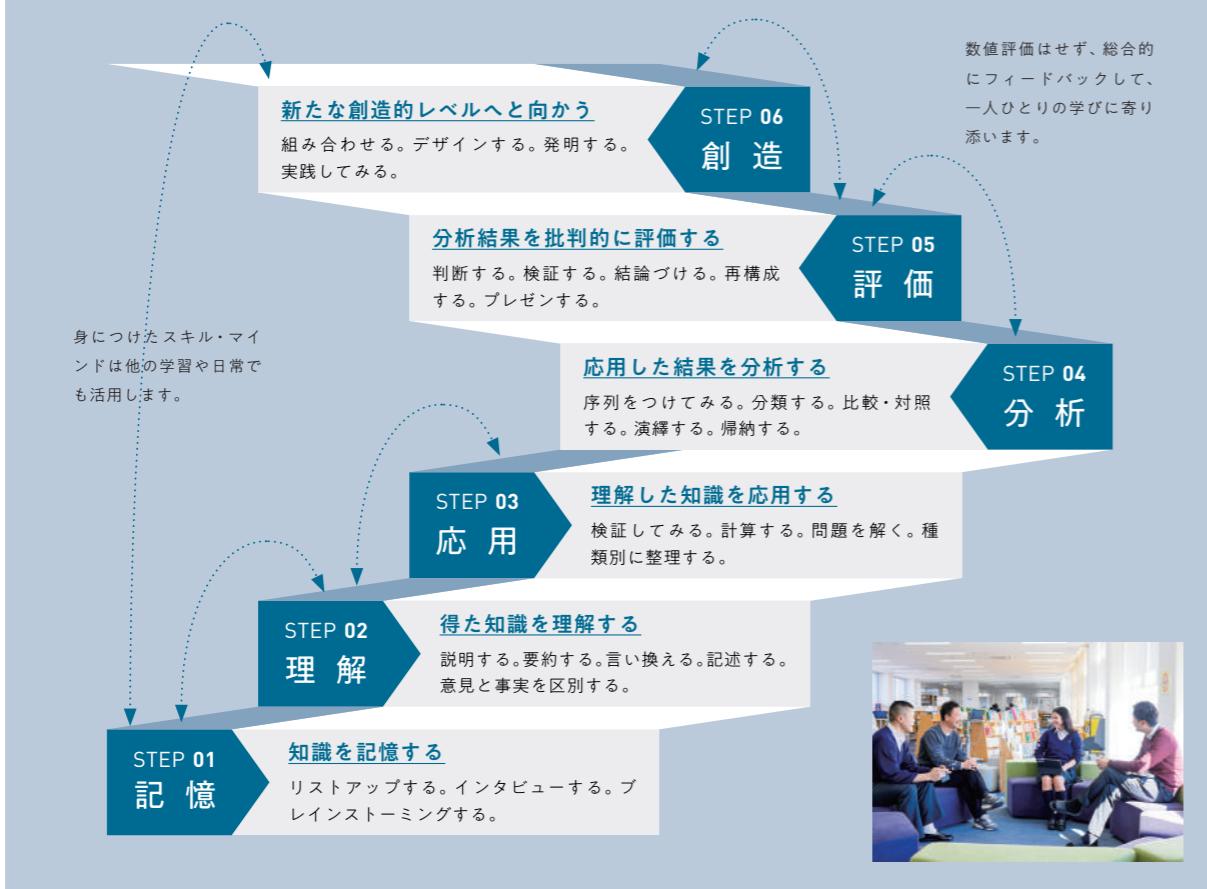
キーワード 「学ぶ」「考える」「探究する」土壤を耕す

「サイエンス」を日本語に訳すと「科学」ですが、広義では「体系化された知識や経験の総称」を意味します。色々な知識を身につけたり、探究をしたり、深く考えたりするためにはその土台となるスキルやマインドを個人で身につけたり、仲間と安心安全な環境をつくりたりすることがとても大切です。「サイエンス」の授業は全ての授業をワークショップ形式で実施します。SEL(社会性と情動の学習)に基づいたPBL(プロジェクトベースドラーニング)型で授業は展開されます。

■ サイエンス科のコアカリキュラム



■ 学びのステップ



■ サイエンス科の位置づけ

学んだり、探究したり、考えるために必要なスキル・マインドを学ぶ

サイエンス科



発達理論・
脳神経科学の知見等

「考え、議論する道徳」に、Social Emotional (Ethical) Learning (社会性と情動の学習) の要素を取り入れた「かえつ有明の道徳」を基盤にしています。

中1 [Who am I? / 自己を中心に]

- 自分の感情に気づく
- ペアインタビュー(少人数で取り組むようなワークを中心に)
- マインドフルネス
- 身体性的ワーク
- 体的な道徳のトピックを扱う(小さいディスカッション⇒スパイダー討論へ)

中2 [How do I relate with others? / 他者を中心に]

- スパイダー討論
- より抽象度の高い道徳のトピックを扱う

中3 [What will I contribute in the real world? / 世界を中心に]

- 哲学対話
- システム思考(つながりを意識するワークを中心に)
- 世界・自然など道徳の中でも抽象度が高いトピックを扱う

週3時間のうち1時間が道徳

マイスターー、価値観ワーク、人生曲線など、ここまで歩みを振り返る時間

- ここにいて安心安全
- 身体と心の健全な状態を意識できるようになる

- 他者と関わることができる
- つながりや所属の感覚がある

- 自分はそのままで価値がある存在
- ⇒他者貢献・自己探求へ

■ サイエンス科の多彩な Project

身についたスキルを生かして実践する

中1 東京臨海地区のリーフレットを制作する



フィールドワークをもとに、ペルソナを設定して独自のリーフレットを制作します。

中2 海外からの旅行者向けの旅行企画を提案する



春の鎌倉自主研修をもとにプレゼンテーションして、秋の関西研修旅行につなげます。

中3 越境プロジェクトで新しい自分と出会う



今までチャレンジできなかったことに挑み、そこで見えてきたものを共有し合います。

その他の取り組みテーマの例

ドルフィンオリエンテーション／ペアインタビュー／OBENTOプロジェクト／価値観ワーク／ホワイトボードミーティング／木育／人生ゲーム制作／未来の仕事を考える／職業インタビュー

Being／ドミノチャレンジ／デジタルエチケット／コミュニケーションカードゲーム／関西研修行動動画／新聞制作／アイデア出しの手法／体験のアウトプットの手法／デザイン思考

新書・絵本回転寿司／ほのぼの読書／自分探しプロジェクト／袋の中身は何？／コンセンサスゲーム／質問の技／哲学対話／スパイダーウェブディスカッション／システム思考

スパイダーウェブディスカッション

キーワード 協働して問題解決を行うための方法を学ぶ

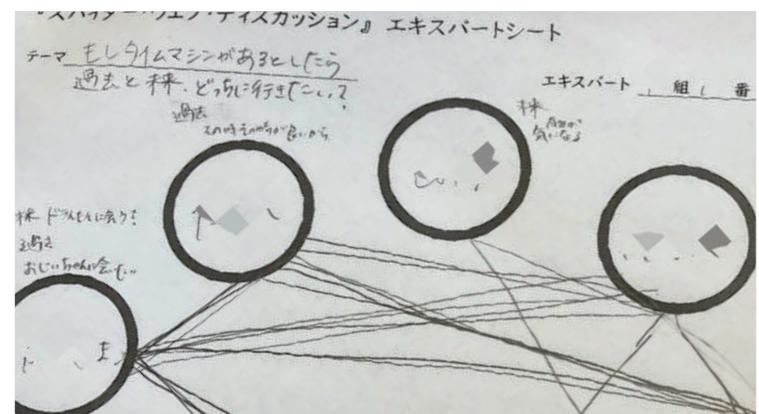
問題を解決しようとするとき、特定の人の意見が通っては、他者と共に問題解決を行う「協働」とは言えません。本校で行う「議論」は、多様性を持つ集団の中で自分の特性を見出し、自分が貢献できることに気づくための場です。これは議論得意にするための方法論ではなく、主体的・対話的に学ぶためのトレーニングです。

■ スパイダー討論の流れ



■ 豊かな議論を実現する「スパイダー討論」

スパイダー討論を重ねることで、自分自身を客観的に見ることができます。同時に自己主張の強い生徒でも、「自分の意見だけがナンバーワンではないのだ」と気づいたり、エキスパート役を務めた生徒が、より客観的に、深く聞く力が身につくなど、それぞれの気付きがあります。一人ひとりの気付きと共に、豊かな議論ができるようになることが、スパイダー討論の目的です。



スパイダー討論の英語名である「SPIDER」は、Synergetic(相乗効果)、Practiced(練習し続ける)、Independent(自立した)、Developed(発展する)、Exploration(探求する)、Rubric(評価基準がある)の頭文字を取ったものです。



『最高の授業』
スパイダー討論が教室を変える
アレキシス・ウェイジン著 吉田新一郎訳/新評論刊

生徒たちがクリティカルに思考し、協働し、主体的に話し合いを進める方法「スパイダー討論」の解説書。
アクティブラーニングの理想的な方法論が説明されています。かえつ有明で4ヶ月間にわたって行った「スパイダー討論」は、日本での実践例として10ページにわたって紹介されています。

モデル・コア・カリキュラム

キーワード すべての教育活動の「コア」となるカリキュラム

本校の教育活動の一つ一つには、「身につけて欲しい知識と資質・能力のコア」があります。「コア」はいわば教育目標です。それを各教科で設定したのが「モデル・コア・カリキュラム」です。授業をはじめ、すべての教科や教育活動において、具体的に育てたい力が3つのコアに集約されています。

■ かえつ有明の教育理念

生徒一人ひとりが持つ個性と才能を生かして、より良い世界を創りだすために、主体的に行動できる人間へと成長できる基盤を育成する。



6年間で身につける知識と資質・能力

- | [学び方を学ぶ] | [自分軸を確立する] | [共に生きる] |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 必要な知識・技能を獲得する ■ 知識を活用する ■ 論理的に考える ■ 批判的に考える ■ 創造的に考える ■ 物事を俯瞰的に見る | <ul style="list-style-type: none"> ■ 好奇心を持って自分から学ぶ ■ 自らの価値観を見つめる ■ 自分の言葉で表現する ■ 自然らしく生きることとはどういうことかに気づく | <ul style="list-style-type: none"> ■ 他者の声を聞く ■ 多様性を受け入れる ■ 他者と協働する ■ 感謝の気持ちをもつ ■ 社会に関わろうとする ■ 互いの強みを生かす |

各教科で身につける知識と資質・能力

国語 数学 英語 社会 理科 音楽 保健体育 技術家庭 サイエンス

- | 中学1年生国語科の例 | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[学び方を学ぶ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 語言能力の基礎となる漢字・語句・文法を習得し、積極的に活用する。 ■ 他者の考えを受け入れながら、主体的に考え適切に表現する。 ■ 広く世の中の事象に興味を持ち、知的好奇心を持つ。 | <p>[自分軸を確立する]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 主体的に読み、聞いて、自らの考えをまとめる。 ■ 他者に対し、論理的に、共感的に表現する。 ■ さまざまな見方や考え方に対する理解を深く見つめ、多角的な視点を持つ。 | <p>[共に生きる]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 論理的に、共感的に他者の考えを受け入れる。 ■ 多様性を意識しながら、ねばり強く他者との対話を続ける。 ■ 他者と協働し、積極的な創造に挑戦する。 |

■ ループリックとは?

ディスカッションやグループワークでは、従来通りのテストの評価方法では測れない学びがあります。この学びを教員の感覚ではなく、客観的に評価する基準が「ループリック」です。ループリックは、必要に応じて教科やテーマごとに設定します。「到達目標」と「評価」を定義した表を作り、教員と生徒が共有します。

- | 国語科で用いられたループリックの例 | 「学び方を学ぶ」について | 「自分軸を確立する」について | 「共に生きる」について |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>■複数の文章を読み比べて、それぞれの論の進め方や表現方法について評価できる。</p> <p>■古典文法を確実に習得し、辞書や文法書を活用しながら、古文を自力で読み味わうことができる。</p> | <p>■クラスメイトのスピーチを聞き、さまざまな観点から評価しながら自分の考えをまとめることができる。</p> <p>■古文語の場面展開と人間関係の変化を捉え、普遍的なテーマについて自分の人生観を深めることができる。</p> | <p>■異なる意見にも共通点を見つけようとし、問題解決のために、お互いの意見のよいところを生かすことができる。</p> <p>■和歌に描かれた「生と死」について自らの考えを深め、お互いの意見を尊重しながら感想を伝え合うことができる。</p> |

英語教育

キーワード 「語りたい気持ち」をかき立てる英語教育

本校の英語教育が目指すのは、コミュニケーションツールとしての英語力を身につけ、言語・文化・価値観の異なる様々な人と触れ合いで視野を広げることです。そのために、授業では安心して自分の気持ちを伝えられる環境を大切にしています。「文法や単語が正しいか不安」「発音が間違っていたら恥ずかしい」などと思わずには英語を話せるのは、他者の学ぶ意欲を尊重し、お互いに高め合おうとする仲間がいるからです。この環境が“語りたい気持ち”をかき立て、英語力のステップアップにつながっていくのです。また、これまでの生活の中で高いスキルを有している人も、より実力を磨くことができます。レギュラー、アドバンスト、オナーズの3クラスを用意して、一人ひとりに合った授業を展開しているのが本校の強みです。

■ 3つのレベル別授業

REGULAR ENGLISH CLASS レギュラークラス	担当: 日本人教員+ネイティブ教員
英語の「音」に慣れることからスタートし、まずは1つの単語だけでも自分が伝えたことを相手に受け止めてもらえることを目指します。また、段階を追うごとに英語を「書く」ためのトレーニングも行います。授業の3分の1はネイティブの先生が担当しますが、日本人の先生がしっかり日本語でサポートしますので、英語に初めて触れる人でも安心して授業を受けることができます。	

ADVANCED ENGLISH CLASS アドバンストクラス	担当: ネイティブ教員+日本人教員 入試レベルの目安: 英検2級
比較的短期間の海外滞在だった生徒をイメージしたレベルのクラスです。オナーズクラスに準じた内容で、ディスカッション、文法・語彙力強化など、基礎力をしっかりと構築していきます。実力が高まり、後からオナーズクラスに移るケースも少なくありません。また、レギュラークラスで力をつけた生徒が進級時にアドバンストクラスに移るケースもあります。	

HONORS ENGLISH CLASS オナーズクラス	担当: ネイティブ教員 入試レベルの目安: 英検準1級
比較的長く英語で学習してきた生徒が多いクラスです。多くのインプット・アウトプットを通して英語を「言葉」として使用すること大切にし、ディスカッションを多く行うことで英語によるコミュニケーションスキルを向上させます。高校卒業時には、TOEFL iBTで100点以上を目指します。	

Language Arts

Philosophy

■ グローバル教育を支える教員たち

本校のネイティブ教員の国籍は、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、フィリピンと様々です。同じ英語でも地域によって単語や発音などが異なるため、色々な国での英語を学べることが強みになります。また、どの先生も本校での英語教育に豊富な経験を持ち、日本人教員と協力しながら主体的に授業を作り上げていくことに自信と誇りを持っています。一人ひとりの生徒が輝くための工夫に努力を惜しまないネイティブ教員による授業は、「もっと英語を話したい！」と思える時間です。



帰国生と共に学び成長できる環境

本校では海外在住経験のある帰国生が多く学んでおり、教室の中には日常的に英語を話す同年代の仲間がいます。そのことが日本を離れたことのない生徒にとって大きなインパクトとなり、多様な価値観を育み、視野を広げます。その一方で、本校の生徒はバッカグラウンドが異なる相手を理解し、尊重することを共有しているため、帰国生も安心して学校生活を送れます。

■ 帰国生の主な滞在先と分布



帰国生数

369名

学年	帰国生数	学年	帰国生数
中学1年	49名	高校1年	82名
中学2年	52名	高校2年	63名
中学3年	60名	高校3年	63名

2024年度入学生の滞在先は、北米が40%、アジアが30%、ヨーロッパが23%、その他が7%。国別でみると、アメリカ、イギリス、カナダ、ドイツ、中国、シンガポール、オーストラリア、マレーシアの順でした。

国際交流プログラム

キーワード 海外生活を通して異文化を理解し成長する

高校修学旅行

全員参加

期間: 8日間

コロナ禍以前は高2の修学旅行先をイギリスとフランスに設定。イギリスではロンドン市内の見学や、オックスフォード、ケンブリッジなどで現地学生との交流を行いました。また、コッツウォルズにホームステイをして、イギリスの家庭生活を実体験しました。フランスではモンサンミッシェル、ルーブル美術館、ペルサイユ宮殿などを見学し、ヨーロッパの歴史を感じる貴重な体験をしました。

【2022年度】 広島 愛媛 徳島 大阪 京都

【2023年度】 シンガポール マレーシア

【2024年度】 イギリス



Cambridge 英語研修

希望制

期間: 14日間



高校1・2年生を対象にイギリスのケンブリッジで実施。日中はペル・ケンブリッジ校で世界中から集まった仲間と共に英語を学び、夜はホームステイで現地の生活を体験します。街には大学の役割も兼ねた古い教会や魅力的な建造物などが数多く点在しており、行く先々が学びの宝庫です。週末は本校の教員と一緒に周辺の見どころやロンドンの観光地を巡る、充実したプログラムです。

アメリカ研修

希望制

期間: 7日間



夏休みに中高の全生徒を対象に行います。カリフォルニア州・サンディエゴ市にある学校で同学年のバディ(担当する生徒)と同じ日課を送り、夜はホームステイ先のホストファミリーと過ごします。英語力の有無を問わず、バディのサポートを受けながら安心してアメリカの学校生活を体験できるのが特徴です。さらに、帰国前には周辺の観光地を巡り、楽しい思い出を作ります。

インド研修

希望制

期間: 7日間

夏休みに、世界3位の経済大国となったインドを訪問。ホームステイをしながら企業や大学、高校で人々と交流し、同国の発展の原動力を感じ取ります。現地の人とコミュニケーションを図る際は、お互いに母語ではないセカンドランゲージである英語を使用します。インドでは社交的な人が多く、積極的に話しかけできます。そうした環境に身を置くことで自然と英語力が身につき、同じアジア人としての関係性も深めることができます。発展する国のエネルギーを体感しながら、世界を身近に感じるようになれる有意義なプログラムです。



World Scholar's Cup

希望制

国内外での3大会



英語による議論・発表やクイズなどを通じて教養を競うとともに、世界約40の国と地域の中高生との交流を通じて国際理解を深めます。国内大会で上位に入賞すると世界大会に参加する権利が得られ、そこで上位に入るとアメリカ・イェール大学で開催されるチャンピオン大会に参加することができます。世界の中高生と交流することで、視野も人脈も広がる魅力的な大会です。

British Hills 英語研修

希望制

期間: 3日間



夏休みの中学生を対象に、オールイングリッシュで行う宿泊研修です。福島県白河市の広大な敷地内にある「British Hills」は建築様式からインテリアまで中世の英国を再現した語学研修施設で、日本にいながらにして海外留学と同等の体験ができます。英語を使って料理やスポーツを楽しむなど、日常生活を非日常的な空間の中で味わえる喜びが、英語学習へのモチベーションを高めます。

MESSAGE

かけがえのない第一歩をインド研修で

インドの数々の魅力の中でも、この研修は、ホームステイやスラム街への訪問などを通じて、現地の生徒と共に笑い、学び、体験することが一番の魅力です。異文化の理解と柔軟性を養うことができ、それぞれの挑戦への第一歩を踏み出そうとしている生徒にぴったりなプログラムだと感じました。



高校3年

MESSAGE

ディベートがつなげる国際交流

私は昨年のWorld Scholar's Cupに参加し、発想力や粘り強さ、精神力が身につきました。全てが英語で行われるので帰国生が活躍できる貴重な経験です！グローバルラウンドでは多様な文化に触れ、私は実際仲良くなったインド人の友人にヘナをしてもらいました。このように勉強以外にも楽しめる体験がたくさんあります。



高校1年

留学プログラム

キーワード 中高時代の海外生活が人生のアドバンテージに

留学は体験型の短期研修とは異なり、約6ヵ月から1年という長期にわたり海外で“生活”するものです。そのため、異文化や価値観、あるいは同世代の人たちの学び方の違いをじっくりと体感することができます。それは、改めて自分自身の生き方を見つめ直すためのチャンスと言っても過言ではありません。吸収力の高い中高時代に海外留学を経験することは、後の人生で大きなアドバンテージとなるでしょう。



セメスター留学

期間 最大6ヶ月間

中学3年以降に選択できる、1学期間(最大6ヶ月間)の留学です。オーストラリアやニュージーランドなど提携先が増えて、ますます充実したプログラムになっています。留学中、本校の授業料は半額免除です。

提携校 Blackwood High School(オーストラリア)/Charles Campbell College(オーストラリア)/Heathfield High School(オーストラリア)
/Norwood Morialta High School(オーストラリア)/Reynella East College(オーストラリア)/Otago Boys' High School(ニュージーランド)/St.Hilda's Collegiate School(ニュージーランド)

※提携校に限らず世界中の学校から選択することができます。



アカデミックイヤー留学

期間 1年間

高校1年以降に選択できる1年間の留学です。高校1年の夏から高校2年の夏までの1年間が、最も人気の期間です。帰国後は進級した状態で、本校での学習を再開することができます。留学中、本校の授業料は半額免除です。

留学フェア

複数の留学団体が、それぞれの概要、費用、安全面、留学のメリットを紹介。また生徒が体験談を語ることもあるため、留学の具体的なイメージを掴むことができます。帰国生の多い本校には留学に興味関心を持つ生徒がたくさんいることから、学校内に様々な留学エージェントを呼んで活発に留学の情報を交換しているのが特徴です。



MESSAGE

自分から学ぶから、自分が成長できる

私は高校1年生の時、10ヶ月間フランスの小さな町に交換留学をしました。全く会話についていけない状態から始まりましたが、わからないことはすべて人に聞いていたので、毎日が学びの連続でした。かえつに戻ってきてからも主体的に学ぶ機会が多いので、成長を感じることができ、学校生活が充実しています。



高校3年

海外大学進学サポート

キーワード 海外で学びを深めたい生徒を全力で支援

本校が大切にしているのは、生徒自身が進むべき道を模索し、切り拓いていくことです。その時の舞台となる場所は日本だけに留まりません。それぞの学びを深められる環境は世界中に広がっており、推薦制度などを活用すれば海外大学進学は思ったよりも難しくないのです。どうぞ世界に目を向けて羽ばたいてください。のために私たちは一丸となって皆さんをサポートします。

■ 3つの海外大学進学への道

01

ストレートに立ち向かう!

日本の大学を探す時のように、海外の大学も同じ目線で探してみます。とは言え、なかなか簡単にはいきません。そこで、本校の外国人スタッフや国際部のスタッフがサポートします。大学選びから必要書類の準備、そして出願までお手伝いします。

02

推薦制度を使う!

本校では、2つの海外大学推薦制度(UPAA、UPAS)があります。かえつでの学びにしっかりと取り組み、学力・英語力が基準に達していれば、提携している海外大学に推薦入学できるプログラムです。通常の入学手続きを大幅にカットでき、また奨学金が得られるプログラムも充実しています。

推薦制度①	UPAA
推薦制度②	UPAS

本校が英語学習の際に導入している、Kaetsu English Online (KEO) に付随するプログラムです。アメリカ・イギリスの大学と提携しています。

近畿日本ツーリストの運営する推薦制度を導入しています。アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリアの大学と提携しています。

03

アメリカの高校も卒業する!

アメリカの高校の授業をオンラインで受講し、かえつでの単位と併せて、日米2つの高校卒業資格を得られるデュアル・ディプロマ・プログラム(DDP)です。日米学術センター・日本旅行がサポートし、卒業後はアメリカの提携大学に推薦入学ができます。

■ 海外大学合格情報

2022年度入試

- Arkansas State University
- Temple University
- Universiteit Twente
- University of Birmingham
- University of Bristol
- University of East Anglia
- University of Edinburgh
- University of Exeter
- University of Manchester
- University of Nebraska
- University of Queensland
- University of Southampton

2023年度入試

- DePauw University
- Embry-Riddle Aeronautical University
- Lake Forest College
- Monash University Malaysia
- Queensland University of Technology
- Simon Fraser University
- Sydney University
- Temple University
- Universite Libre de Bruxelles
- University of Adelaide
- University of California, Davis
- University of Massachusetts-Amherst
- University of Western Australia

2024年度入試

- Beijing Foreign Studies University
- Lakeland University
- Michigan State University
- Minerva University
- Northeastern University
- Pennsylvania State University
- Santa Monica College
- Taylor's University
- University of California Davis
- University of California San Diego
- University of Debrecen
- University of Leeds
- University of Manchester
- University of Massachusetts Amherst
- University of Nebraska
- University of Pittsburgh
- University of Washington Seattle

CAREER GUIDANCE

進路・進学

自分軸を確立する6年間のキャリア教育

本校のキャリア教育は、自分の人生を自分で掴み、創造的に生きるために準備です。自分を知ることからスタートし、自分の生きる地域社会を見つめ、さらに広い国際社会を知り、その中で自分はどう生きるべきかを考える6年間。



PICK UP Academic day

中学生の探究的な学習のアウトプットの場として、3月に実施されます。プロジェクトの発表やワークショップ・対話会などを通し、学びの世界を大きく広げる一日です。社会人のゲストや保護者・卒業生・地域の方々をお招きし、リアルな社会を肌で感じながら、学びを自分の中で再構築する“体験的な学びの場”を生徒主体で創りあげます。課題解決につながる新たな思考の芽生えを楽しみ、「世界」とのつながりの中で、生き生きと学ぶ生徒の笑顔が輝きます。



PICK UP ケンブリッジ研修・イノ旅・トラ旅

高校3タイプのクラスコンセプトに従い、それぞれ高校1年で宿泊行事が予定されています。高校新クラスの、課題探究型学習とホームステイを通して自分らしい学び方を身につける、ケンブリッジ研修。オーセンティッククラスの、地域密着型プログラムを通して新たな自分と地域の未来について体験的に学ぶ、イノ旅。トライディショナルクラスの、チューターや友人ととの共感的な対話を通じて自分を深く内省し将来像を確立する、トラ旅。



MESSAGE

「対話」を軸に、世界とつながる豊かな学び

教員の役割は、生徒が自身の内なる興味関心に気づき、主体的な一歩を踏み出すための最初のきっかけを作ることです。自分の可能性を感じ、失敗を恐れず挑戦するマインドを大切に育んでいくために、私たちはまず「安心して学べる環境作り」に力を入れています。「自分はここにいていいのだ」という安心感を持ち、他者を受け入れ、対話を重ねるところから、能動的な真の学びが始まります。本校卒業後も、未知なる世界に積極的に働きかけ、自らの手で豊かな人生を築いていくける、逞しく、しなやかな力を育成できる学びの場を、教員も対話を重ねながら創り上げています。



教育部長 大木 理恵子

CAREER GUIDANCE

進路実現は「当たり前だけど大切なこと」の積み重ね

進路部と学年・教科が連携し、一人ひとりの学習状況を分析しながら希望進路実現に導きます。OB・OGはチューターとして後輩たちを支えます。鍵となるのは日々の積み重ね。学校全体がひとつになって、高い志望を叶えます。

PICK UP

放課後講習・長期休暇講習（学習支援センター）

高2は合否を分ける大学入試500日前を迎えます。放課後講習はこのため高1の3学期に英語大学入試基本英文法講座から始まり、入試直前期までより高度な理解を得るために実施しています。現役予備校講師をはじめとする信頼と実績の講師陣が、担任や授業担当の先生と密な連絡をして、本校からではの指導効果を相乘的に発揮しています。さらに夏期冬期春期直前講習は講座延べ数計500回を超えて実施されており、進学指導において自信の指導を展開しています。

曜日	学年	講座名	実施時間	曜日	学年	講座名	実施時間
月	高3	英語S	120分	木	高3	理系物理	90分超
		英語D	120分			理系生物	90分
火	高2	現代文	90分			推薦・総合型 文章講座（上級）	120分
		推薦・総合型 文章講座（標準）	90分	高2	文理数学	90分	
		古典	90分	高3	入試数学演習	90分	
	高2	英語T	120分	高2	英語S	120分	
		英語D	120分	高2	英語D	90分	
水	高3	現代文	90分	土	高3	英語D	90分
						文系世界史	120分

【数学道場】
火・水・土 理系チューターが質問対応等。

PICK UP

探究ゼミ

総合型選抜入試に対応するため、現役大学生による対話型講座を開講しています。ただ合格を目指すのではなく、自分の人生と向き合い、目標に向けて自律的な自分を目指す場です。憧れの卒業生との対話は刺激的です。



PICK UP

チューター

本校の卒業生やインターンシップ協定校である東京理科大学の教員志望の学生が中心です。教科指導だけではなく、受験に向けた広範な質問にも対応でき、その対話が大学受験の精神的な支えになっています。



PICK UP

勉強合宿

夏休みに、高1は3泊4日、高2は4泊5日、文系・理系やレベル別クラスに分かれて100分の講義を受け、夜は自学自習と質問を繰り返します。疑問点をその場で質問し理解できる環境です。



PICK UP

合格体験記

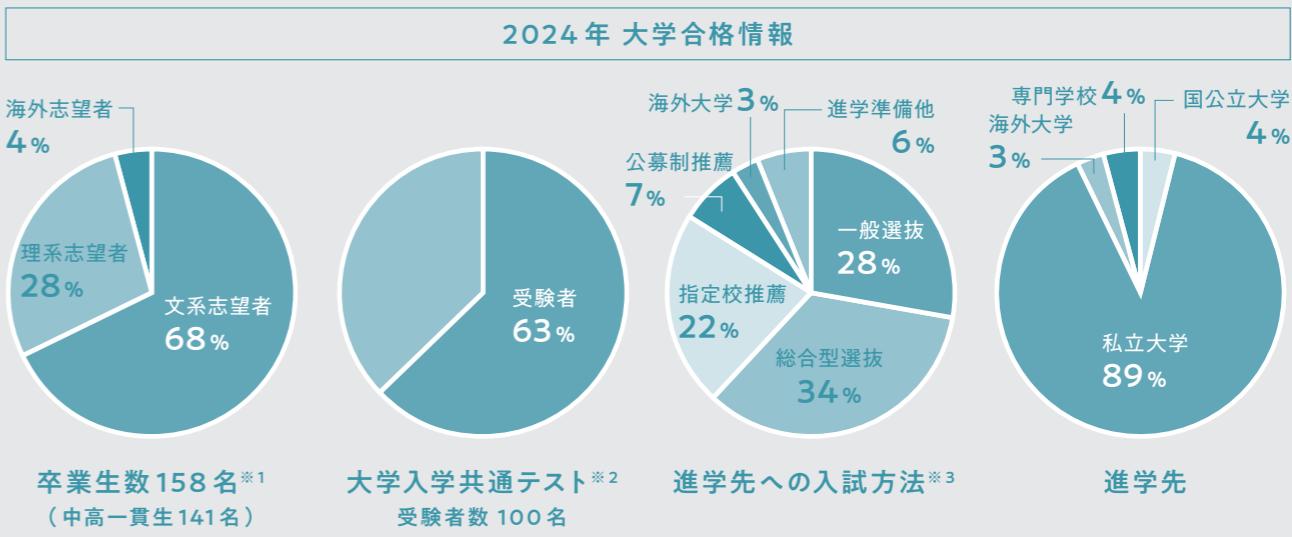
学習法、スランプの時期と対処法について具体的な体験談とふりかえり、高2の2学期から高3受験直前までに取り組んだ教科別の学習内容・方法やテキストを時系列に掲載しています。



MESSAGE

混迷の時代を生きる

高度経済成長期の日本人は、みなが同じものを見て、同じものに憧れ、共通の話題で盛り上がりました。そして、競争社会で生き抜くために、まずは偏差値の高い日本の大学を目指し、高い地位に就き、多くのお金を稼ぐことが、人生の成功でした。人より優れていることに価値があり、みなが同じ方向を向いているので、自分の今日の行動も迷う必要はない。しかし、今は違います。良くも悪くも、多種多様な価値観を自由に表現できる今、変化の激しい未来を、長期的な視野に立ち、考え、情報収集を積極的に行い、周りからのプレッシャーに左右されず、自分自身を知ることが大切です。今も昔もやはりウサギではなく、自身と向き合うカメのような生き方です。



※1: オーセンティッククラスとラディショナルクラスは、高校2,3年で文系クラスと理系クラスに分かれます。 ※2: 学習支援センターでも、共通テスト対策講座を開講しています。 ※3: 職員室前の学習支援センターにて、希望制の大学受験対策講座を開講しています。自習室もあり、進路指導室やラウンジでも、チューターや教員が個別フォローしています。TOEFL/SAT講座など、海外大学進学のための支援体制も整えてあります。

国公立大学への合格者数 10名

大学	合計	現役生	既卒生
東京大学	1	1	
名古屋大学	1	1	
神戸大学	1	1	
千葉大学	1	1	
国際教養大学	2	2	
信州大学	1		1
新潟大学	1	1	
高崎経済大学	1	1	
会津大学	1		1

医学部・歯学部・薬学部・看護学部への合格者数 33名

大学	合計	現役生	既卒生
医学部	6	1	5
歯学部	6		6
薬学部	11	11	
看護学部	10	10	

私立大学への合格者数 373名

大学	合計	現役生	既卒生
早稲田大学	15	11	4
慶應義塾大学	11	11	
上智大学	15	15	
東京理科大学	12	12	
国際基督教大学	1	1	
学習院大学	4	3	1
明治大学	13	11	2
青山学院大学	6	4	2
立教大学	9	8	1
中央大学	11	10	1
法政大学	25	23	2

大学	合計	現役生	既卒生
武蔵野美術大学	1	1	
津田塾大学	2	2	
日本女子大学	1	1	
学習院女子大学	1	1	
昭和女子大学	8	8	

他、たくさんの合格者が出ています。

大学	合計	現役生	既卒生
Minerva University	1	1	
University of Manchester	1	1	
University of Leeds	1	1	
Pennsylvania State University	1	1	
Michigan State University	1	1	
University of Massachusetts Amherst	2	2	
University of California San Diego	1	1	
University of California Davis	1	1	
University of Washington Seattle	1	1	
University of Pittsburgh	1	1	
Northeastern University	1	1	
University of Nebraska	1	1	
Taylor's University	1	1	
Lakeland University	1		1
University of Debrecen	1		1
Santa Monica College	1		1
北京外国语大学	1	1	

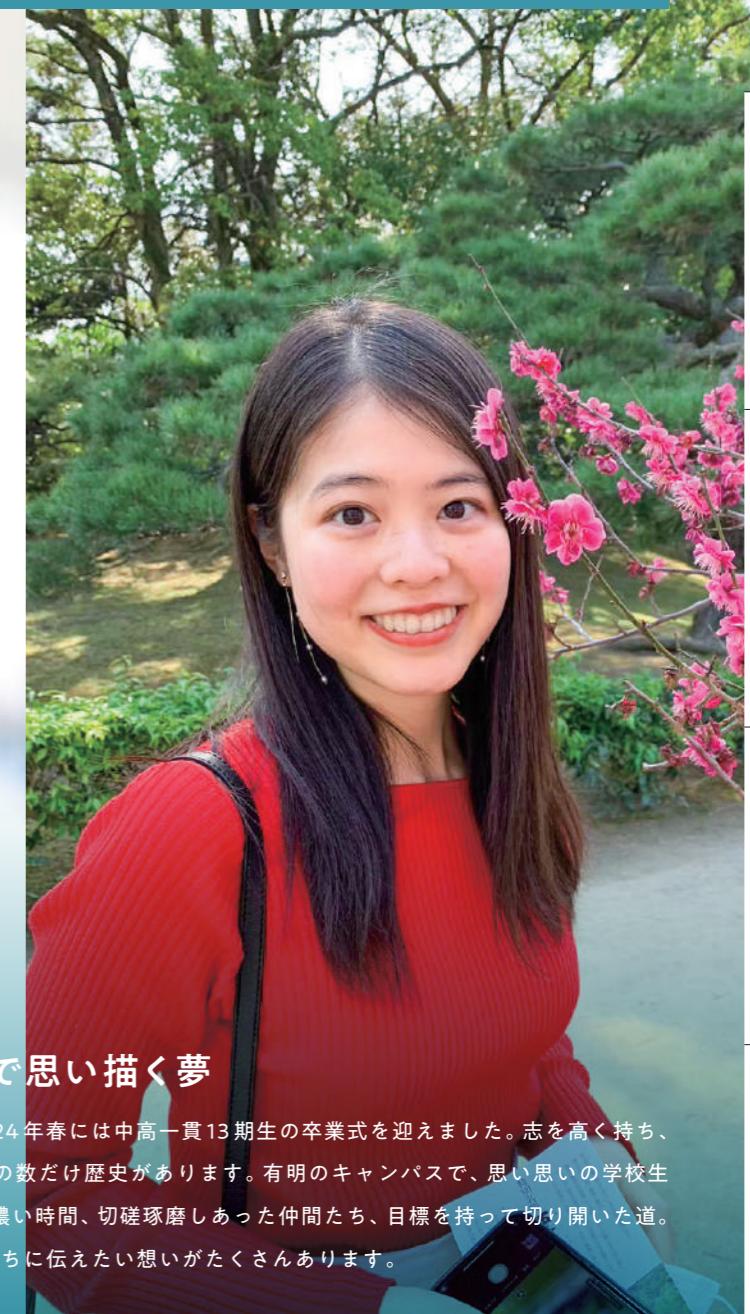
大学	学部	推薦枠
東京理科大学	4学部	6名
法政大学	10学部	15名

他、全国100大学以上から推薦枠を頂いています。

MESSAGE

from Graduate

卒業生からのメッセージ



かえつから世界へ、それぞれの場所で思い描く夢

2006年にかえつ有明中・高等学校が誕生してから18年。2024年春には中高一貫13期生の卒業式を迎えました。志を高く持ち、新しい教育を実践してきた若い学校ですが、在校生・卒業生の数だけ歴史があります。有明のキャンパスで、思い思いの学校生活を送った卒業生たち。フィールドワークで経験した密度の濃い時間、切磋琢磨しあった仲間たち、目標を持って切り開いた道。そして今、それぞれの場所で活躍し、思い描く夢——。後輩たちに伝えたい想いがたくさんあります。

羽ばたく機会に恵まれた場所

中2から高3までの5年間、生徒が輝ける機会を数多く提供してくださる先生方のおかげで、自分やクラスメイトの可能性にワクワクできる毎日を過ごしていました。授業で行う対話やグループワークを通して、お互いの違いを超えた堅い信頼関係をクラスメイトや先生と築けたこと、また、そこでの経験を活かしてクラス外でも人と刺激しあえる場を見つめることは、かえつ有明での学びの中で最も鮮明に残っている財産です。ミネルバ大学に合格することができたのも、かえつ有明で感じた文化や価値観の違いを超えた人との交流の大切さを表現できるようになったことが要因の一つだと思っています。これからもかえつ有明での学びを自分の中に留めることなく、世界の様々な人と対話し、協力しあいながら、グローバルに活躍できる人材になるために存分に活かしていくこう強く思っています。

主体性を育む場所

かえつ有明での6年間は主体的に学びを深める日々でした。私はこの学校で共に切磋琢磨しあえる友人や自分の疑問に最後まで真摯に向き合ってくれる先生に恵まれました。テストの内容を個別に作っていただきたり、休日にビデオ通話で質問に対応してくれたりと生徒に寄り添い柔軟に対応してくれる先生方がいる環境は、生徒の主体性を育み、目標を成し遂げる手助けをしてくれるものでした。また、様々なバックグラウンドをもつ同級生たちとの交流は、グローバリゼーションが進む現代社会に不可欠な多様性を尊重する姿勢を獲得させてくれました。私は元々バイオミメティクスに興味があり、生物の変わった特徴から着想を得て、ものを開発するというプロセスに携わりたいと考えていました。かえつ有明で養った主体性や広い価値観を活かし、大学では生物工学を学び、世界中の人の手に届くような製品を開発できる人材になりたいと思います。

上智大学 国際教養学部
山口 笑愛さん(2023年度卒業)

東京大学 理科二類
八尋 功太郎さん(2023年度卒業)

国際色豊かな仲間と自分を知り表現する学び

国際色豊かで個性的な生徒達が考えを共有し新しい発見ができるという事が、かえつ有明での学びの大きな特徴です。私が選択したオーセンティッククラスでは多様な進路や受験形態の生徒がおり、入試に向けた一般的な勉強と各自興味のある課外活動を行うことができました。中学から続いているアクティブラーニングを中心とした日本語でのプロジェクトの授業や外部ワークショップ等の活動、英語で行った帰国生中心のHonors classでのPhilosophyの授業によって、様々な視点からの考えを尊重しつつ言語や文化に合わせて自分を表現し行動する力を身につけることができました。大学では更に学びを深め、異文化を持つ人々が個性を生かし協力できるより良い社会になるために、何ができるのかを考えていきたいです。かえつ有明でこれから学ぶみなさんが自分らしい楽しく充実した日々を送れることを心より応援しています。

上智大学 国際教養学部
クラージュ 彩海さん(2023年度卒業)

患者様のために 一目的を意識すること

将来自分が何をしたいのか、何をする必要があるのかを明確に考えられる人は、なかなかいないのではないでしょうか。実は私もその1人でした。しかし、高校時代、親身に相談に乗ってくれる仲間や先生がいらっしゃったことに加え、卒業生チューターの先輩方から講習や勉強合宿などでアドバイスを伺えたことで、ある重要な点に気づくことができました。「目的に焦点を当て、今の自分の課題を明確化し行動することで、確実に目的を果たすことができる。」ということです。現在、私は製薬会社の開発職として、患者様へ新薬をお届けするために働いています。どんなに業務に追われても、「患者様のため」という目的を意識することで、判断軸がブレることなく、今自分がやるべきことを考え行動することができます。かえつ有明での教訓を胸に、満足のいく治療法がない患者様の元へ必ず新薬をお届けします。

製薬会社開発職勤務 千葉大学 薬学部卒業
堀合 咲慧さん(2016年度卒業)

SCHOOL LIFE

かえつ生の1日
ONE DAY
P. 24

学校行事
SCHOOL EVENTS
P. 25

クラブ紹介
CLUB ACTIVITIES
P. 27

施設紹介
SCHOOL FACILITIES
P. 29

制服紹介
UNIFORM
P. 31

■ 中学1年生 時間割例

ONE DAY at Kaetsu

「語りたいことがたくさんある」かえつ生の1日

生徒たちの顔は「今日はどんな新しいことを学べるだろう」という期待に輝いています。放課後は部活に、体育祭や文化祭の準備に、講習に、そしてそれぞれが今、熱中できることに向かいます。



MESSAGE

Very 楽しい、
かえつ有明の一日

私のクラスは、明るくにぎやかで、自分らしく素のままでいられる安心感があります。朝の学活のあとは、午前に4時間の授業を受けます。私は体育が一番好きです！月ごとに違うスポーツを体験出来て、とても楽しいです！お昼休みは、よく体育館でバドミントンをしています。午後もアクティブな授業を2時間頑張って、そのあとは楽しい放課後が待っています！部活に行ったり、友達と学校で宿題をしたり遊んだりして過ごしています。特に部活はものすごく楽しいので、一日の楽しみにして毎日頑張っています。ぜひバドミントン部に来てみてください。きっと気にいると思います！

8:15



8:35



12:25



13:10



15:30



17:30



登校

かえつ生は湾岸エリアに限らず、1時間以上かけて登校する生徒も少なくありません。7:30ごろから、自習や朝練習している生徒もいます。

午前

どの授業も「主体的に学ぶ」ということを軸に設計されています。新しいことを学ぶワクワク感が、創造的な学習の原動力です。

昼休み

持ち込んだお弁当や注文販売の日替わりお弁当、コンビニ自販機で買ったものを食べます。食後は、グラウンドでのびのびと。

午後

最後の最後まで集中!!水曜日の6限目は、学活・HRの時間。行事の準備に精を出す生徒や、さまざまなプロジェクト活動を行う生徒もいます。

部活動・講習

帰りの学活・HR、清掃が終わったら、いざ部活へ! 学習支援センターでは大学受験対策講座を開講しています。ドルフィンで宿題に取り組む生徒も。

下校

季節に関係なく17:30に下校します。生活目標の一つである「時間の厳守」を徹底しています。



【10月】北海道ファームステイ(中3)

農村の民家に宿泊して、農作業や地域振興のお手伝いをします。大自然や現地の生活に触れることで、都市での生活を見つめ直します。



【10月】関西研修旅行(中2)

奈良・京都(・大阪)を訪れて、歴史的建造物を見学します。自主研修では、班ごとにテーマを設定した上でコースを決めて、京都の町を散策します。



【1月】百人一首かるた大会(中学)

体育館に畳を敷いて、中学生各学年で行います。文芸部(かるた部)が歌を読み上げ、国語係が運営を行い、日本の伝統的な和歌を楽しみます。



【2月】合唱コンクール(中学)

クラスごとに曲を選定し、全員で心を合わせて練習に励み、本番に臨みます。会場は江東公会堂「ティアラこうとう」です。

SCHOOL EVENTS

学校行事

かえつ生の思い出に残る「一番熱い日」

生徒主体の学校行事。係生徒を中心に生徒自ら企画・運営します。体育祭、伝統の集団演技は誰もが主役。成功だけではない。失敗からも学べる学校行事です。(中学3年で海外研修を計画中です。)

APRIL	MAY	JUNE	JULY	AUGUST	SEPTEMBER	OCTOBER	NOVEMBER	DECEMBER	JANUARY	FEBRUARY	MARCH
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> 新入生オリエンテーション 入学式 始業式 面談月間 参観デー 生徒総会 健康診断 保護者会 防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習 中間試験 ケンブリッジ研修【高1新クラス】 中1・2年特別授業【中学】 体育祭 	<ul style="list-style-type: none"> 読書週間 高校1・2年進路ガイダンス【高2】 海外大学進学説明会 保護者面談 	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 終業式 インド研修【高校】 	<ul style="list-style-type: none"> プリティッシュヒルズ英語研修【中学】 高校2・3年夏期講習【高校】 高校1・2年勉強合宿【高校】 アメリカ研修 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 面談月間 	<ul style="list-style-type: none"> 創立記念日 文化祭 面談月間 防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 読書週間 中間試験 保護者面談 高校1・2年進路ガイダンス【高2】 高校1年宿泊行事【高校】 イノ旅 トラ旅 高校2年修学旅行 	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 保護者会【中学】 終業式 高校2・3年冬期講習【高校】 生徒会立会演説会選挙 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 二十歳を祝う会【卒業生】 百人一首大会【中学】 保護者会【高校】 	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクール【中学】 高校送別会【高校】 留学フェア 	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 アカデミックデー 修了式 中学卒業式【中学】 高校卒業式【高校】 ケンブリッジ英語研修【高2】 高校2・3年春期講習【高校】



【5月】校外学習(全学年)

フィールドアスレチック、鎌倉自主研修、野菜の収穫や田植え体験など、校 外で行う課題解決型行事。チームビルディングを通じて親睦を深めます。



【5月】体育祭(中学／高校)

高3生による集団演技、男子の『白波風』と女子の『響』は伝統です。年々進化する最高学年の演技に、会場は感動に包まれます。



【9月】文化祭(中1～高2)

学習や部活動の発表の他、中学は催事、高校は模擬店を行います。生徒主体の熱気に満ちた行事です。受験生や地域の方々もたくさん来校されます。



【10月】高校修学旅行(高2)

訪問地はイギリス・フランス。綿密な事前学習を行い、現地では歴史を目の当たりにし、文化を堪能します。訪れる街の学生との交流も楽しめます。

CLUB ACTIVITIES

部活動紹介

部活動の規定
(抜粋)

生徒個人の活動日と活動時間については次の通りとする。

- 原則として平日(月曜日～金曜日、祝祭日及び休校日を含む)は3日を限度とし活動時間は2時間程度とする。
- 原則として土曜日・日曜日は1日を限度とし活動時間は3時間程度とする。
- 長期休業中の活動時間については土曜日・日曜日に準じる(3時間程度)。
- 定期試験期間中及び定期試験1週間前からの活動は行わない。

MESSAGE

私達のサッカー部



誰でも主役になれる



私は以前ミュージカルを習っていた経験があり、ミュージカル部に入部しました。先輩後輩の垣根がなく、とても仲が良いです。部活の時間は真剣に活動し、他の時間は気軽に交流できるのが魅力です。また、先生だけでなく、生徒が中心となって活動する部活です。協力して舞台を作り上げるのは大変ですが、充実感や楽しさがあります。個性をいかせるように配役や構成も考えられており、それぞれが主役になれる場所です。

ミュージカル部 (高校1年)





New!!

2024年3月 新芸術教室棟が完成!!

BLOOM

表現を通して、自己を深め広げる

教科によって人が集まるのではなく、用途によって人が集まる空間です。その時々の生徒の活動に応じて変化していきますので、開放された風通しのいい空間で、さまざまな授業や課外活動の自己表現を楽しんでください。



SCHOOL FACILITIES

施設紹介 未来はここからはじまる



グラウンド

人工芝のサッカーグラウンド。ひざや腰への負担を軽減する素材を使用しています。体育祭もこのグラウンドで行います。



PC 教室

オンライン英会話など、世界とつながる双方向的な活動や、プログラミング等の授業が効果的にできる環境を提供しています。



ドルフィン

図書館は、生徒が知識の海原を泳ぐ様子をイメージして「ドルフィン」と呼ばれます。約5万冊の蔵書が好奇心を刺激します。



屋上庭園

臨海地区の風景が一望できる屋上庭園。卒業生がこの場所にタイムカプセルを格納して、20年後に開ける予定です。



和室

畳の香りに癒やされる和室。日本文化部や文芸部(かるた部)が利用しています。



コンビニ自販機

ドリンク・軽食(パン・おにぎり等)などを販売します。健康的な日替わりお弁当のネット注文販売もあります。

かえつ有明のキャンパスは、一時期は東雲飛行場として使用されていた、固い地盤の上に建っています。コンセプトは「環境に配慮したエコスクール」。雨水や地中冷熱など、自然の力を利用する仕組みを取り入れています。東京23区の学校としては、明るく広い開放的なキャンパスです。



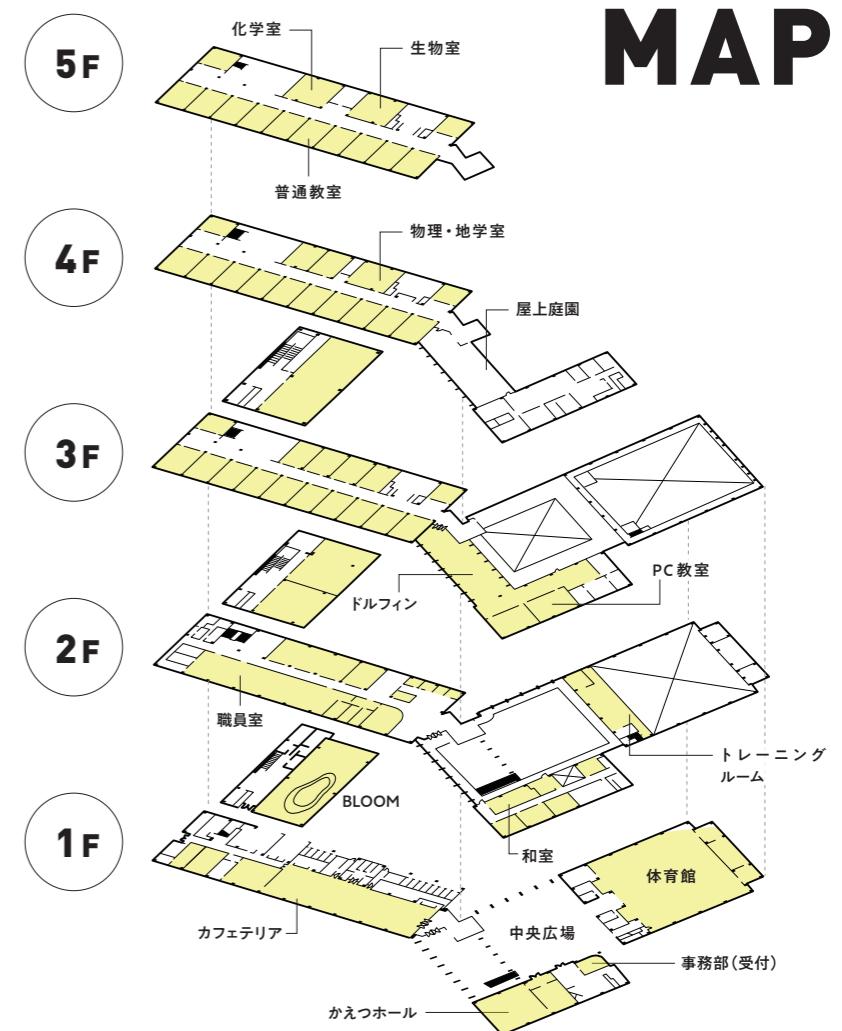
体育館

1200名収容できる体育館。1階はバスケットコートが2面取れる広さ。2階は柔道の授業で60帖分の畳を敷ける広さがあります。



テニスコート

2面あります。休み時間には、生徒たちが思い思いに時間を過ごしています。放課後には、硬式テニス部が活動しています。





DETAIL



ズボンスタイル

アクティブなかえつ生の象徴です。選択アイテムに、グレーのスラックスもあります。

スカートスタイル

中学生は、青のライン。大きな幅のブリーツスカートで活動の幅を広げます。

UNIFORM

制服紹介 活動的な学校生活を過ごすために

かえつ生の日常はアクティブです。自由な発想で自己表現をするために、カジュアルなスタイルも揃えました。夏・冬の区別なく、アイテムを自由にコーディネートできます。メンズブランドTAKEO KIKUCHIのクリエイティブディレクター、菊池武夫氏のデザインです。



ポロシャツ

白と紺色が選べるポロシャツ。通気性が良く、夏の定番スタイルになっています。



DETAIL



セーター

秋冬に活躍するウールのセーター。

ベスト

寒暖の差が大きい季節に活躍するベスト。



パーカー

かえつ生に人気のグレーのパーカー。着回しがきくので1年中活躍します。

INFORMATION

[学園情報]

立地の安全性について

東雲駅前は海拔3mほどあり、さらに本校の校地は海拔6mほどのが高さにあります。また、東京臨海広域防災公園に隣接し、災害時の対策本部から支援が受けやすい環境です。東京臨海広域防災公園は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、「災害現地対策本部」等が設置され、東扇島地区(川崎市)の物流コントロールセンターと一体的に機能する防災拠点施設です。

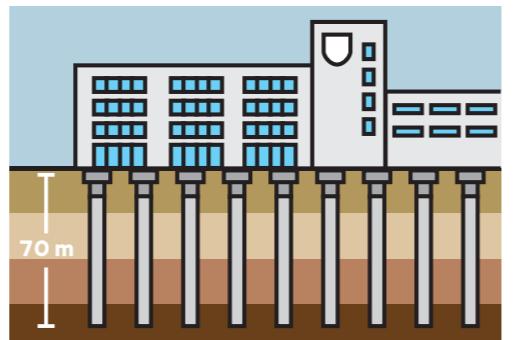


校舎の安全性について

かえつ有明中・高等学校の敷地は、古くからの埋め立て地で、一時期は東雲飛行場(1980(昭和55)年閉鎖)としても使用されていた土地であるため、地盤は固くしっかりとされています。その硬い地盤の下、深さ70mにあるさらに固い地層まで基礎杭を何本も打ち込み、その上に校舎が建てられています。(通常の建物の場合、杭の深さは30m程度)

参考例: 体育館天井の耐震性について

本校の体育館は、平成15年10月に国土交通省より発信された「大規模空間を持つ建物の天井の崩落対策について」に基づき、耐震性を考えて作られています。体育館を施工された鹿島建設株式会社によって計画され、施工されました。



災害時の対策について

地震や火災、有事の際、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をとることが重要です。そのためには、みなさんが災害について関心を持ち、いざというときに落ちついで行動できるよう、日頃から災害に対する正しい心構えを身につけておくことが大切です。独自の防災マニュアルをもとに、年2回、防災訓練を行っています。

災害時被災報告システム『CoCoねっと』

平常時は、生徒と保護者宛てに学校便りやお知らせなど必要な情報を、メール(アカウント配布)で一斉配信しております。災害発生時に、生徒との連絡が取れる学校専用のネットワークとして、NPO法人ロイズ(東京都品川区)が提供する「災害時被災報告システム」を導入し運用しております。携帯電話が繋がらない、携帯メールが遅延する状況においても、学校専用のサイトに直接情報を登録することで、生徒・保護者・学校の間で情報を登録・確認することができます。また、生徒が、学校外で被災した場合は、生徒と保護者間で連絡を取り合える伝言板機能を有しています。本システムは、学校専用のサイトで利用者制限をしており、インターネットに接続できれば、確実に情報を登録・確認できる体制を整えています。本人が携帯電話を持っていないなくても、避難所などのパソコンや他の人の携帯電話を使って、「災害時被災報告CoCoねっとカード」に記載されているアドレスにログインして利用することができます。このカードを生徒・保護者が常時携帯することで、様々な「まさか」の事態に備えることができます。

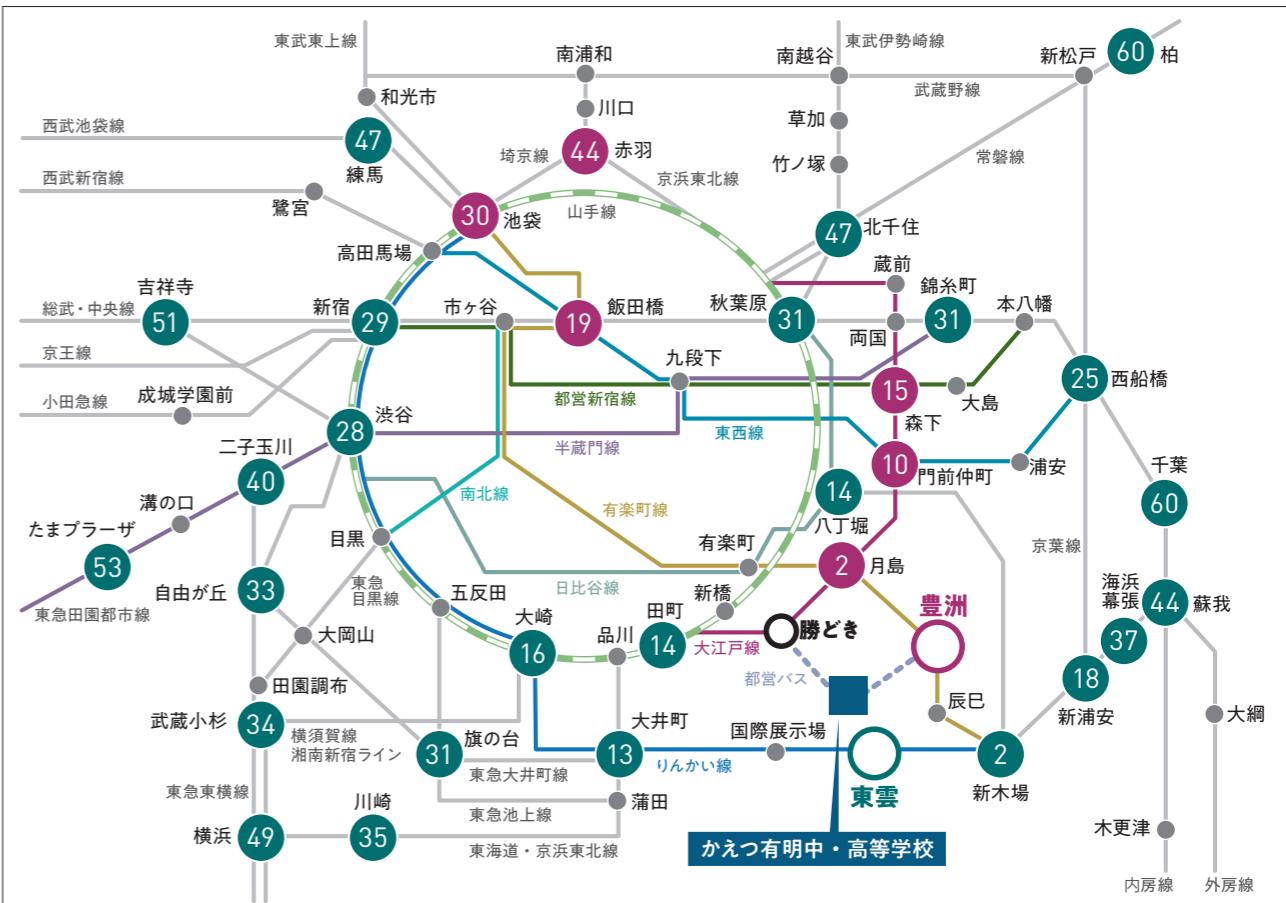


お預かりするお子様の安心・安全対策として

東京都が指定する災害避難地区、臨海副都心に位置するキャンパスは、病院や避難施設が近くにある安全な環境です。

「学校が一番安全な場所」となるために、さまざまな安全対策を行っています。

交通案内



■ 最寄り駅は「東雲」駅となります。「東雲」駅利用の場合は「●」、「豊洲」駅利用の場合は「●」で駅を表記しております。

■ 所要時間は、ジョルダン乗り換え案内にて8:00目的地到着の条件で調査しております。

■ 「豊洲」駅から本校の最寄りバス停「都橋住宅前」まで都営バスで約8分です。

■ りんかい線「東雲」駅より徒歩約8分

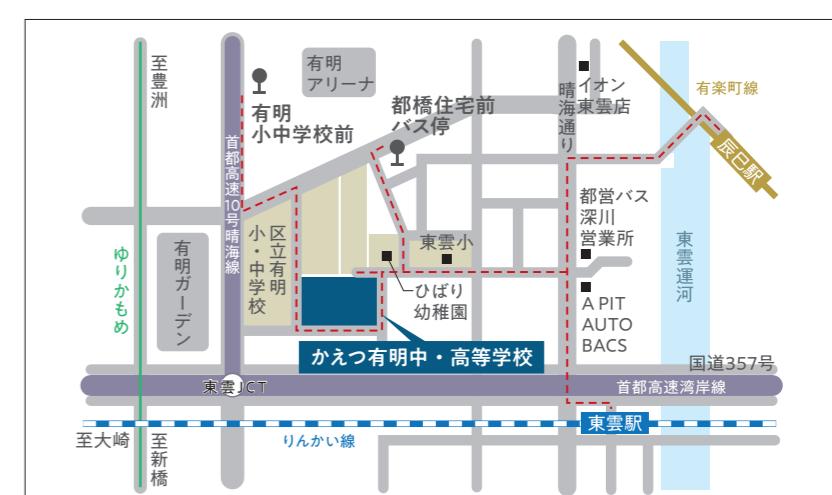
■ 有楽町線「豊洲」駅より都営バス(東16)(海01)
「都橋住宅前」バス停下車徒歩約2分

(東16) 東京駅八重洲口発 月島・豊洲経由台場方面行き
(海01) 門前仲町駅発 越中島・豊洲経由台場方面行き

■ 大江戸線「勝どき」駅より(都05-2)
「有明小中学校前」バス停下車徒歩約3分

(都05-2) 東京駅丸の内南口発 勝どき駅前経由
東京ビッグサイト方面行き

■ 有楽町線「辰巳」駅より徒歩約18分



QUESTIONS AND ANSWERS

[よくある質問]

充実した学校生活を送るために

Q. クラス編成はどのような形で行われていますか？

中学ではどのクラスも性別、成績等の偏りがないように編成されます。原則帰国生と一緒にいます。高1では高校からの入学生の入る新クラス、トライディショナルクラス、オーセンティッククラスと学び方のスタイルで3つに分かれます。本人の意思を尊重し、成績や面談をふまえて決まります。クラスの在籍者数は全校平均34人程度です。各学年6クラス程度です。

Q. 習熟度別授業は行われていますか？

英語の授業は、HRクラスを解いてオナーズ、アドバンスト、レギュラークラスの3クラスに分かれます。通年で授業が実施され、クラスアップには進級前に成績・試験・面接等の審査があります。習熟度に応じたきめ細かい指導を行っています。

Q. 部活動は熱心ですか？

運動部も文化部も同好会もあるので、多くの生徒が入部し、放課後も熱心に活動をしています。時間の有効な使い方や集中力が身に付くなど、普段の授業やクラスではできないことも多くあり、部活動を通して様々なことを学ぶことができます。中には文化部を中心に、2つの部を掛け持ちしている生徒もあります。中1生は4月の2週目から5月GWあたりまで体験入部期間ですので、いろんな部を体験して、ゆっくり選ぶことができます。

Q. 学習フォローはありますか？

放課後には定期試験前後を中心に、教科担当者による希望制や指名制の講習・補習が開かれています。中学は、成績や課題の提出状況をふまえて、個別・少人数でフォローしています。高校は、高1の3学期から開講される学習支援センター講習で、大学入試に備える生徒が多いです。

この他にも、気になることは、本校広報室までお問い合わせください。

ENTRANCE EXAMS

[入試情報]

2025年度 中学入試

	2月1日(土)		2月2日(日)		2月3日(月)
	午前	午後	午前	午後	午後
2科・4科 入試	試験名称 2科・4科入試	特待入試		特待入試	特待入試
	科目 2科・4科	2科・4科*		2科・4科*	2科・4科*
思考力 入試	試験名称 思考力特待入試				アクティブラーニング 思考力特待入試
	科目 個人探究				グループワーク
英語 入試	試験名称 Honors / Advanced 入試		Honors / Advanced 入試		
	科目 英語筆記・英語作文 英語ペアワーク・日本語作文		英語筆記・英語作文 英語ペアワーク・日本語作文		

*4科選択者は特待合格と一般合格、2科選択者は一般合格の可能性があります。

2025年度 帰国生中学入試

	11月22日(金)午前		12月8日(日)午前
	試験名称 Advanced選考		Honors選考
難易度	英検2級に準じた難易度設定		英検1級に準じた難易度設定
科目	・英語筆記(30分)※リスニングなし ・英語作文(20分) ・英語ペアワーク ・日本語作文(30分)		・英語筆記(50分)※リスニングなし ・英語作文(40分) ・英語ペアワーク ・日本語作文(30分) (特待合格とAdvanced合格もあり)
11月22日(金)午後		Regular選考	
試験名称	Regular選考		
科目	・国語・算数		

Regular選考で合格された場合、英語の授業は一般的なレベルのクラスでの受講になります。

中学学費及び諸経費(2024年度参考)

入学時かかる費用について		入学後、毎月かかる費用について (毎月指定口座より引き落とし)		制服・体操用品の費用について (必ず購入するアイテム)
入学会	入学時	250,000円	授業料	41,000円
後援会入会費	入学時	5,000円	設備費	14,000円
入学諸費	入学時	20,000円	環境衛生費	9,000円
合計	入学時	275,000円	旅行等積立金	13,000円
Advanced/Honors英語授業は 別途下記学費が発生します		後援会費	2,000円	後援会入会費
英語特別指導費用(月額)		生徒会費	1,000円	女子チノパン選択
10,000円		合計	80,000円	男子スカート選択

正式な募集要項については、本校ホームページ「2025年度募集要項」をご覧ください。